



マルティン・ニーメラー

ヒトラーに逆らった牧師

マシュー・ハケネス「著」／穂田信子「訳」

Uボートの艦長から愛国主義的な牧師へ、
ナチ党支持者から強制収容所の囚人へ、
教会改革の指導者から平和運動の旗手へ、

——その激動の生涯を描く！

ニーメラーは最初からリベラルな平和主義者だったのではなく、むしろ逆だった。しかし彼は状況の中で必要と信じる別な道を選んだ。アメリカの気鋭の歴史家が、保守的な思想の持主であったニーメラーがいかにして自己変革を遂げていったかを、英雄視を排して歴史的・批判的に辿った最新の評伝。



【著者】Matthew D. Hockenos は1996年生まれ、ニューヨーク大学で学位を取得、現在スキッドモア・カレッジで歴史学を講じる。専門はナチ時代および戦後期のドイツ・プロテスタント教会史。【訳者】あきた・のぶこ氏は京都大学文学部卒。訳書にスターク『キリスト教とローマ帝国』、シフトン『平静の祈り』など。

【目次より】

- 第1章 神と共に王と祖国のため
(八九二年～一九四年)
- 第2章 大洋において皇帝に仕える
(一九四年～一九八年)
- 第3章 Uボートから説教壇へ
(一九八年～一九三三年)
- 第4章 神とヒトラーを信じて
(一九三三年)
- 第5章 闘う牧師
(一九三四年～一九三七年)
- 第6章 ヒトラーの私的囚人
(一九三七年～一九四五年)
- 第7章 罪責、悔悟、再生
(一九四五年～一九四六年)
- 第8章 全米講演旅行
(一九四六年～一九四七年)
- 第9章 剣を打ち直して鋤とし
(一九四七年～一九五六年)
- 第10章 神の特使
(一九五六年～一九八四年)

◆四六判・390頁・定価4400円

8月25日発売

ユーモア実践

8月25日発売

人生を楽しむ7法則

宮平望著

◆A5判・150頁・定価1650円

ユーモアの作り方をまじめに考える。

「言葉の手法」であるユーモアは、「レトリック」という「トリック」技術を駆使して、ありきたりの言葉を笑いという完成に導く。本書はこのレトリック技術を網羅的に精査し、豊富な例示と共に7つの法則を導き出す。ユーモアの諸法則は、総じて教養の法則でもあることをよく示す。著者のユーモア研究第2弾。

既刊

ユーモア入門

◆A5判・244頁・定価2310円



宮平望（みやひら・のぞむ）氏は1966年生まれ。同志社大学、ハーバード大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などで学ぶ。現在西南学院大学国際文化学部教授、神学博士。著書に『神

の和の神学へ向けて』『責任を取り、意味を与

える神』『苦難を担い、救いへ導く神』『戦争を

鎮め、平和を築く神』『現代アメリカ神学思想』

『神の和の神学入門』、新約注解12冊、旧約註

解全4冊、『ジョン・マクマレー研究』『ディ

スニランド研究』など。詳しくは、[https://](https://myahiranozomuhome.wixsite.com/mysite)

myahiranozomuhome.wixsite.com/mysite を

参照。

最近のオンデマンド化から

戦争・平和・キリスト者

ローランド・ベイントン著／中村妙子訳

◆A5判・定価5995円

ヒトラー政権の共犯者、犠牲者、反対者

《第三帝国》におけるプロテスタント神学と教会の《内面史》のために

H.E. テート著／宮田光雄・佐藤司郎・山崎和明訳

◆A5判・定価9900円

キリストに従う

ディートリヒ・ボンヘッファー著／森平太訳

◆四六判・定価5280円

ジャン・カルヴァン著／堀江知己訳

イザヤ書註解Ⅱ 11章―27章

イザヤ書註解は、カルヴァンにとつて初めての旧約聖書註解であり、1551年に出版された。改革者がヘブライ語の深い知識に基づいて、どれほど真剣に預言書に取り組んだかが如実に伝わってくる。詩篇註解に比肩する膨大な分量であり、邦訳では全5巻となる予定。

A5判・予価7000円

ジョン・ミルバンク著／原田健二朗訳

神学と社会理論 世俗的理性を超えて

本書は教会中心主義的なポスト・リベラル神学を主張する「ラディカル・オーストキシー」と呼ばれる思想潮流の烽火ともなった問題作。様々な現代思想との対論は極めて刺激的であり、またアングロカトリックの社会的伝統に連なる断固たるキリスト教社会主義者の面目躍如たるものがある。待望の邦訳。

A5判・予価8000円

ヴォルフハルト・パネンベルク著／佐々木勝彦訳

組織神学 第二巻

邦訳全三巻がついに完結。この第二巻では、創造論、終末論、人間学、キリスト論、和解論が独特無比な仕方でも展開され、20世紀の後半における最大の組織神学的収獲であるパネンベルクの体系の、中核と全貌がここに明らかとなる。

A5判・予価9000円

● 7月に出た本と雑誌

ロゴセラピーのレッスン

フランクルの21の知恵

パム・ロイ&モイラ・フンメル著／赤坂桃子訳



ヴィクトール・フランクルが創始したロゴセラピーは、人間を「肉体」「心」「精神」の総合と捉え、特に、自分自身から距離をとって人生について考え、目標と方向を選ぶ自由な「精神」の次元を

重んじる。精神を粗末に扱うと心身の健康がむしろまわってしまう。著者の二人は、フランクルの膨大な著作の中から21の珠玉の短文を選び出し、人生において大切な21のテーマに沿って、一人一人が自らの精神をケアするための手ほどきをしてくれる。

◆小B6判・定価1870円

福音と世界

◆定価660円

8月号 特集1 平和を作り出す人たち

特集2 IIグスタボ・グティエレス追悼

特集寄稿…大澤香、星出卓也、飯田瑞穂

青野和彦、小林雅博、ハイメ・ラミレス

時評 香港キリスト教の五年間（松谷暉介）

好評連載

戒能信生、石田学、富田正樹、福嶋揚、田島卓、今高義也、長尾優、山崎ランサム和彦

販売部から

『福音と世界』が面白い——最近の感想です。私は販売部の担当で編集には関わっていませんが、読者の一人として最近の『福音と世界』は面白いと思っています。山口陽一先生の連載「日本的キリスト教」を読む」は戦時下のキリスト教会の状況を知り得る内容として大変貴重でした。上智大学と軍部とのやり取りはとても緊張して読みました。連載は既に終わり、現在単行本化に向けて準備中です。鈴木正久牧師の「戦争責任告白」は頷くところです。戦争は決して過去の出来事ではなく現代もこれから起こり得る出来事として私たちに問いかけています。福岡揚さんの「異端者の世界航海——ハンス・キュンクの生涯」もとて興味深く拝読しています。キュンクの本は小社からも数冊刊行されていますが、そういう人だったのかと改めて学ぶことばかりです。石田学先生の「わたしたちキリスト者は天皇制をどう考えるべきか」は、生活の中に溶け込んでいく様々な習慣が実は根深い所で天皇制と結びついていることに驚きました。日本の風土に抗うことの難しさを感じながらキリスト者としての生き方が問われます。四月号の特集「荒井献とその時代」では、幾人かの先生方から、先般天に召された荒井献先生の業績を紹介していただきました。聖書学者としてまた信仰者として残された足跡の偉大さを改めて感

じました。小社からも先生の書籍を何冊も刊行できたことを嬉しく思っています。刊行部数は多くありませんが、中々読み応えのある雑誌だと自負しています。(金沢)

出版部から

ナチによって8年もの間強制収容所に囚われたニーメラー牧師は、戦後次のような言葉を残しました。「はじめに彼らは共産党員に向かって行ったが、私は声を上げなかった——共産党員ではなかったから。つぎに彼らは労働組合員に向かって行ったが、私は声を上げなかった——労働組合員ではなかったから。それから彼らはユダヤ人に向かって行ったが、私は声を上げなかった——ユダヤ人ではなかったから。そして彼らが私に向かって来たとき、私のために声を上げてくれる人はひとりも残っていなかった」。これは強権による人権抑圧がどのように行われるか、また気づいたときにはいかに抵抗するすが失われていたかについて、歴史の教訓を踏まえた貴重な警告です。現代日本で、たとえば少数の外国人への誹謗中傷を梃に政治力を急速に増している党派がありますが、私たちは、憎悪言説の対象とされ、身を守る力を持たない人たちのために、「声を上げる」ことが求められてはいないでしょうか。なお評伝「マルティン・ニーメラー」は最後の点検作業中です。8月25日発売予定。どうぞご期待ください。(小林)

福音と世界

2025年
9

A5判・80頁・定価660円・送料70円
年間予約購読料(送料共) 8760円

特集…教会の罪責告白

戦後八〇年——教会の罪責告白を巡って

責めを負い、責任を担うということ

——教会の罪責告白—— 朝岡 勝

「報国」のキリスト教から「見張り」のキリスト教へ

戦争協力と戦争責任告白——佐々木 結

教会の戦争責任に関する私の意見

——沖繩の視点から—— 久保 礼子

「瑕疵」の脱臼—— 金 迅野

「罪責」の連帯の広がり—— 吉田 新

【書評】「静寂者ジャンヌ」…… 鶴岡 賀雄

【時評】戒厳、弾劾、罷免、そして新しい出発

——声明から見る韓国キリスト教界の諸相と課題—— 洪 伊杓

【好評連載】

◆人物・日本キリスト教史 3 …… 戒能 信生

◆ばやき牧師のさすらい説教録 6 …… 富田 正樹

◆異端者の世界航海 6 …… 福岡 揚

◆証言としての旧約聖書 17 …… 田島 卓

◆八木重吉の聖書 26 …… 今高 義也

◆私は告白する、私の神を 30 …… 長尾 優

◆新約釈義 ルカ福音書 45 …… 山崎 フランサム 彦

◆キリスト者は天皇制を…… 4 (完結) …… 石田 学